

坪川委員（自民大志会）

令和4年3月9日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）小規模高等学校の教育環境について

一学年一学級の小規模高等学校の教育環境を守っていくため、どのような取組を考えているのか、教育長に伺う。

（答）

1学年1学級規模校につきましては、学校関係者や地域の代表者等で構成する「学校活性化地域協議会」を設置し、生徒数の増加や学校の活性化に向けた取組を進めております。

その中で、例えば、

- ・ 学校行事や部活動の地元中学校との共同実施
- ・ 教員相互乗り入れによる授業の実施
- ・ 地元中学校へ出向いての個別の進路相談

など、特色ある取組が行われており、1学級規模校の校長が参加する情報交換会や事務局職員の訪問指導などの機会を捉えて、こうした好事例を共有しております。

また、今年度から、新たに、

- ・ 生徒に、質の高い学びの機会を提供するための遠隔教育システムの導入や
- ・ 地元中学校の生徒の進路希望や学校の特色を踏まえた指導・助言などに取り組んでおります。

教育委員会といたしましては、こうした取組を継続しつつ、各学校において、活力ある教育活動が展開できるよう、各学校の課題や実情等を丁寧に把握しながら、必要な支援を行ってまいります。